

【別添2】（様式例2）

令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校番号 58

I 自己評価

（全日制課程）

1 学校教育目標	(1) 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 (2) 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材を目指し、一般教養及び専門的知識や技術を身につけさせるとともに、創造性にあふれ明朗快活で心豊かな人間性を養う。	
2 評価する領域・分野	生徒指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生徒、保護者等アンケートから 「本校では、人間としての基本定なモラルやマナーを身につけさせようと努めている。 （肯定的評価の割合：生徒90%）」 「本校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」 （肯定的評価の割合：生徒81%）	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	1 基本的な生活習慣の確立に加え、協調性や思いやりがあり、心豊かで規律正しい人間の形成。 2 コミュニケーション能力を高め、積極的に行動できる資質を養う。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・企画委員会を中心に、学年、学科等、縦と横の連携を大切にして、迅速かつ適切に対応できる組織とする。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
① 生徒会と共に遅刻生徒の減少に向けた運動を実施する。 ② 主体的な挨拶と周囲に対する気配りができる人になれるよう、生徒会、MSリーダーズと連携して働きかける。 ③ 生徒が主体となって社会に貢献できるMSリーダーズ活動を、生徒が主体となって企画、運営できるように働きかける。 ④ 生徒が自ら身だしなみを整え、正しい着こなしができるように、働きかける。	① 遅刻者統計数 ② 挨拶に対して意識、行動が高まったかについての調査（職員、生徒の自己評価） ③ MSリーダーズ活動が、参加生徒にとって達成感、充実感のあるものであったかのアンケート調査（参加生徒の自己評価） ④ 身だしなみ指導の前に、自ら着こなしについてのアンケート調査（生徒の自己評価）	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・コロナウイルス感染予防対策から出停の扱いが変わっているため単純な比較はできないが、遅刻者、欠席者ともに減少傾向となった。 ・各クラスが朝の挨拶運動にMSリーダーズとともに参加した。 ・現在、344名の生徒がMSリーダーズに登録している。また、ボランティア活動を生徒が自主企画・実行することで、気配りのある雰囲気、行動が広まりつつある。	① 自主的な活動の増加により遅刻者は減少した。 ② 自己肯定感が高まり、進んで挨拶できる生徒が増加した。 ③ 自主的な活動を行うことで充実感を得た生徒が多かった。	A (B) C D (A) B C D A (B) C D
11 成果・課題	○昨年は実施できなかった朝の身だしなみ指導を再開した。MSリーダーズを中心とした働きかけの継続と相まって、挨拶と正しい身だしなみの習慣が定着している ○コロナ禍ではあるが、MSリーダーズが、自主的にボランティアを企画・実践することによって、善意の行動が広がりを見せている。 ▲クラス内での仲間に対するトラブルやSNS等でのトラブルが多く、人とのかわり方、情報モラルについての規範意識を高めさせることが必要である。	
12	来年度に向けての改善方策案 ・SNS等の使用について、様々な場面で啓発していくことを継続し、規範意識を高めたい。 ・MSリーダーズの自主的な活動や委員会活動の活性化が、地域の役に立つ内容になるよう、生徒の主体性を引き出しながらアドバイスや情報提供をしていく。生徒にさらなる満足感や充実感を与える。	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月10日

【意見・要望・評価等】

- ・MSリーダーズの活動に多くの生徒が参加している。生徒の達成感・充実感がより高まるとよい。
- ・郊外で見かけても身だしなみがしっかりしている。挨拶もしっかりできている。
- ・いじめや差別をなくすために、相手をリスペクトできる雰囲気作りを進めてほしい。